

じどうとしょしつだより



No. 100(2017. 7)

よんでみませんか 児童図書室がえらんだ本

ちっちな木のおはなし

ローレン・ロング さく やまね もとよ やく
評論社 2017.4 (資料 ID: 1111371880)

小さな葉っぱをつけたちっちな木がありました。秋になると、ちっちな木のまわりのちっちな木々は、葉っぱを落とし始めました。けれど、そのちっちな木だけは、葉っぱを離しません。春がきて、まわりの木々はきれいな若葉をつけましたが、そのちっちな木は枯葉をつけたまま。動物たちが心配して声をかけますが、ちっちな木は葉っぱを手放すことができません。一步踏み出す勇気を伝える絵本です。

あめ

イブ・スパンク・オルセン さく ひだに れいこ やく
垂紀書房 2017.2 (資料 ID: 1111368534)

ある雨の日、シャロツテが窓の外を見てみると、大きな雨粒がふたつ、目の前に現れました。雨粒の名前はバラバラとポトポト。シャロツテが雨の降るしくみについてたずねると、やさしい言葉でていねいに説明してくれました。地面にしみこんだ雨水が、太陽の熱で水蒸気になって上昇し、また雨粒となって地面にしみこむ、という水の循環を楽しく学ぶことができる一冊です。

いろいろいっぱい

ニコラ・デイビス 文 エミリー・サットン 絵 越智 典子 訳
ゴブリン書房 2017.2 (資料 ID: 1111345057)

地球には、何種類の生き物がいると思いますか？ソウのように大きいものから、目に見えないほど小さなものまで、いろいろいっぱいいます。発見されていない生き物も、まだまだたくさんいるようです。新しく発見されればされるほど、生き物同士お互いを必要としていることがわかります。でも、この複雑にからみあった模様のような関係を壊しているものがあります。それは何でしょう。生き物のつながりの大切さを教える科学絵本です。

もいのとしょかん

ふくざわ ゆみこ 作・絵
学研プラス 2017.5
(資料 ID: 1111366431)

わたり鳥

鈴木 まもる 作・絵
童心社 2017.3
(資料 ID: 1111354637)

レッド あかくてあおいクレヨンのはなし

マイケル・ホール 作 上田 勢子 訳
子どもの未来社 2017.1 (資料 ID: 1111328477)

レッドは赤くて青いクレヨンです。ほんとうは青なのに、つつまれている紙が赤。だからイチゴを描いても、なんだかへんてこ。みんなには赤だと思われているので、先生や友達から、「もっと練習すればできるようになる」と言われたり、あれやこれやと試されたり。けれど、一生懸命練習しても、やっぱりうまく描けない。そんなとき、パープルに海を描いてと言われて…。本当の自分を見つける絵本。

わたしだけのものがたり

パメラ・ザガレンスキー 作・絵 木坂 涼 訳
フレーベル館 2017.2 (資料 ID: 1111339612)

ものがたりが大好きなエミリー。ある日、学校の教室に置いてあった先生の思い出の本を借りて帰ると、開いた本には言葉がありません。言葉がなければものがたりを楽しめないと思ってしまうエミリー。すると、どこからか小さなささやき声が聞こえてきて、「絵をながめながら、あなただけのものがたりを想像してみてください」と言います。最初は苦戦するエミリーでしたが、想像を働かせ、自分だけのものがたりをつくりあげます。

アームストロング 宙飛ぶネズミの大冒険

トーベン・クールマン 作 金原 瑞人 訳
ブロンズ新社 2017.4 (資料 ID: 1111363618)

毎晩望遠鏡で夜空を見る小ネズミのアームストロングは、月は丸くて大きな岩でできていることを発見します。しかし、周りのネズミたちは、月は丸いチーズでできていると信じており、彼の話を全く聞きません。そんな時、スミソニアン博物館の老ネズミから、手紙が届きます。「君の発見は正しい」という老ネズミから、かつて空を飛んだネズミたちの話を聞いた小ネズミは、誰よりも先に月にいくことを決意します。月を目指す、小ネズミの冒険が始まります。

へろへろおじさん

佐々木 マキ さく
福音館書店 2017.4
(資料 ID: 1111360886)

ながいながい骨の旅

松田 素子 文
川上 和生 絵
桜木 晃彦 監修
講談社 2017.2
(資料 ID: 1111344980)

